

実践栄養学研究セミナー（第1回）

- 1) 講義「セミナーの目的と内容」 13:15～
- 2) 講義「実務から生まれる研究の意義」 14:45
- 3) 講義「研究計画の作り方（初級編）」 14:45～15:00
- 4) 演習「課題を見つけて研究計画を作る」 15:00～16:45

1)と2)の講師は塚原丘美支部長(名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科教授)でした。セミナー受講者の自己紹介から始まり、セミナーの目的・目標(ゴール)、第1回から第4回の内容についての説明がありました。さらに、実践栄養学研究の意義は、日常業務のレベルアップと、研究結果を発信することで仲間との共有や栄養学発展に寄与できると説明がありました。科学的根拠のある研究とするためには、本日の課題である研究計画を作成することが重要性であると説明がありました。



3)の講師は後藤千穂先生(名古屋文理大学健康生活学部健康栄養学科准教授)でした。まず初めに研究の流れについての説明があり、続いて、研究の種類について、それぞれの目的と利点・欠点の説明がありました。目的と明らかにしたいことを対応させて方法を選択すること、欠点を十分理解して解析を進めることの重要性がわかりました。研究の計画では、対象者の選定、調査方法の決定、調査票の作成について説明がありました。文献検索の方法については実際の文献検索画面、倫理的配慮については資料の提示がありました。



4)の演習では、3つのグループに分かれ、それぞれの課題を出し合い、研究目的、方法、予想される結果(仮説)等、研究計画を立てるために必要な事柄について、討議しました。



文責) 安達内美子 (庶務幹事)